

目次
— CONTENTS —

- 2 特集 日本遺産 葛城修験
- 8 特集 きらり vol.55
- 12 橋本市の魅力を発信します
- 13 新型コロナ対策事業
- 14 情報ワイド
 - ▶災害への備え
 - ▶国勢調査 など
- 16 情報ひろば
- 22 タウン情報
- 23 子育てぱーく
- 24 本のひろば
- 25 健康カレンダー
- 26 フォトトピックス

今月の表紙



日本遺産に認定された葛城修験のうち、橋本市内にある葛城修験ゆかりの地を撮影。

日本遺産 葛城修験

橋本市の修験の道を巡る

文化庁では、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定しています。令和2年6月19日、橋本市の文化財などを含む「葛城修験―里人とともに守り伝える修験道はじまりの地―」が日本遺産に認定されました。

大阪、和歌山、奈良の境にそびえる総延長112kmに及ぶ峰々一帯は「葛城山」と呼ばれ、多くの神々が住む山として人々に崇められてきました。また、修験道の開祖である役行者が初めて修行を積んだこの地は、修験者たちにとって最も重要な行場であり、世界遺産の吉野・大峯と並ぶ「修験の二大聖地」と称されています。

「修験道」は、古くから日本にあった山岳信仰と、大陸から伝わった仏教や道教などが融合した日本独自の宗教です。

修験者たちは、神の宿る山中深くに分け入りさまざまな修行を行ってきましたが、その修行やルートについては、修験者だけの秘密とされていました。

一方で、修験道と地元住民のつながりは深く、修験の道周辺の里には、痕跡が残っており、現在も修験者たちは、その付近の神社や滝などを巡り修行を行なっています。現在も多くの謎に包まれる「葛城修験」。今回は、葛城修験に関わる橋本市の文化財などを巡り、その歴史・伝統をひもといていきます。